

第5章 環境について自ら考え行動する人づくり

第1節 学校における環境教育の促進

1 環境教育の実施体制の整備

(1) 里山里海湖学校教育プログラム集

【自然環境課】

里山里海湖について、小中学校教員が児童生徒を指導するためのプログラムを、現場の先生方の意見を踏まえながら作成しました。

表5-1-1 これまでに作成したプログラム

	プログラム名
25年度	道徳読み物資料 ・「じいちゃんからの宿題」 ・「世界の標準時計となった『水月湖の年縞』」
26年度	三方五湖周辺体験プログラム
27年度	北潟湖周辺体験プログラム 六呂師高原周辺体験プログラム
28年度	丹南地域周辺体験プログラム
30年度	三方五湖周辺体験プログラム改訂 (福井県年縞博物館を追加 他)

平成26年度から作成している体験プログラムは、身近な里山里海湖を実際に体験することにより保全の意識を高め、自主的な活動を促すことを目的としており、すべての小中学校へ配布しました。これにより、小中学校の教員が、「里山里海湖とは何か」、「里山里海湖でどんな活動ができるのか」を知ることができる手引書としての活用と「里山里海湖の恵み」を児童・生徒に実体験させることができるものと期待しています。

さらに、それぞれの地域の特性を活かした体験活動を実施することで、より福井の里山里海湖の魅力を実感し、保全・再生の意識を向上させていけるものと考えています。

今後とも、系統立てた環境教育を推進できるよう、学校の年間指導計画に位置付けていけるよう努めていきます。



里山里海湖学校教育プログラム集

表5-1-2 平成30年度にプログラムを体験した

学校数・人数

(平成30年10月末現在)

	学校・団体数	児童・生徒数
三方五湖	16校・団体	596名
北潟湖	4校・団体	54名
六呂師	6校・団体	296名
丹南	34校・団体	1,433名
合 計	60校・団体	2,379名

(2) 環境・エネルギー教育支援事業

【義務教育課・高校教育課】

県内の小・中・高等学校を対象に、地域の特色に応じた実践を通して、児童・生徒の理解を深め、自ら考え、判断し、よりよく環境・エネルギー問題を解決する力を育成することをねらいとした「環境・エネルギー教育支援事業」を推進しています。

小学校では、ソーラー発電や風力発電を学習する教材の活用やエネルギー教育関連施設の見学を通して、環境・エネルギー教育を進めています。

中学校では、放射線測定器や発電モデル実験器等を購入し、実験や観察を通して放射線の性質や様々な発電方法について正しい知識と科学的な理解を深める授業を充実させています。

高等学校では、平成28年度に5校、平成29年度に6校、平成30年度は5校を対象に、学校の特色に応じた環境・エネルギー教育の取組みを支援しました。講演会や見学会等を通してエネルギー問題や放射線に対する理解を深める取組みを実践しています。

今後も、各校の取組みを県内全体に広め、環境・エネルギー教育の一層の普及に努めていきます。

※事業対象 小・中・高等学校

表5-1-3 環境・エネルギー教育支援事業取組状況

	28年度	29年度	30年度
環境・エネルギー教育に関連する施設等の見学	5校	11校	9校
講師による講演や意見交換会での指導および助言	3校	4校	2校
エネルギー教育に関する資料・機材の活用方法の研究	92校	31校	34校